

採択事業 NO.4

種 別：行政提案型

団体名：宝塚市第一地区自治会連合会

事業名：第一地区ネットワーク会議 にこりたす 1DAY

交付決定額：390,000 円

（事業を行おうとした動機・必要性）

＜動機＞

平成 27 年より地域内の課題を話し合う「ネットワーク会議」を実施。

ネットワーク会議を通して自治会、民生児童委員、まちづくり協議会との連携が深まるとともに、地域共通の課題として、「担い手不足」があげられた。

担い手不足への課題解決に向けて令和 3 年以後の会議では、

- ① 勤労世代、子育て世代と地域活動者のつながりを強める。
- ② まちづくり計画に、若い世代の気づきを活かす。
- ③ 世代間交流を活発にしたい。

に重点を置き、勤労世代との意見交換。そこで出たアイデアを具体化し、令和 5 年にイベントを初開催。

イベントを終えて、勤労者・子育て世代が参加しやすい地域活動の充実、勤労者・子育て世代が自主的に活動できる舞台を作る必要があると感じ、令和 6 年ではイベントの開催と情報発信の強化を進めていきたい。

＜必要性＞

現在、地域活動について勤労世代が参加する機会や情報を得る手段が少ない。

よって、

- ① 勤労世代と協働した実行委員会形式のイベント実施、参加者との交流
- ② 広報を拡充（情報を広く拡散・共有し、協力・提案を求める）

かつ、地域の活動情報を、個人のスマホからアクセスできる環境整備が求められている。

また、本事業に関係する地域の協力者（スタッフ・プレイヤー）の参加意識を高め、活動への取り組みを継続的に推進していく必要がある。

（事業を行う目的と期待される効果）

＜効果の広域性＞

第一地区内 5 小学校区のまちづくり協議会と自治会(30)並びに民生児童委員協議会、各小学校 PTA、地域活動者・ボランティア団体が一体となって活動することで、各団体との連携が強化できる。

＜独創性＞

第一地区内の各団体、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、各小学校 PTA が連携して

同一イベントを開催し、各世代間のきずなづくりができています。市内において、第一地区以外に、まちづくり協議会圏域を超えて広いエリアの住民がつながり、このように多団体がともに活動している地域はないといえる。

<継続性>

平成27年より、地区内の各団体と協調をはかり、子育て世代から高齢者まで一致協力して活動を進められる体制が整備出来つつある。地域内の将来像を定め、ネットワーク会議を重ね、宝塚市行政各課、社会福祉協議会、民生児童委員協議会のサポートを得て、参加者も増加してきた。イベントの内容も毎年変化をさせながら、地域活動者の年齢層も広がってきており、継続性を高めていく。

(事業の内容)

日 時 : 令和6年9月28日(土)

場 所 : くらんど人権文化センター

回 数 : 1回/年

参加予定者 : 600名

参加予定団体 : 各小中学校区 小学生等・PTA(7)

第一地区自治会連合会(単位自治会30)

第一地区 各小学校区まちづくり協議会(5)

第一地区 民生児童委員協議会(1)

地域事業者(JRA等)

地域活動団体

ボランティア団体

<計画しているイベント内容>

イベント① 地域に散らばっている地域活動を集めるまち歩き

5つの小学校ごとに約1時間~1時間半で校区を探検。地域内で地域活動について知ることができるスポットを設定し、交流しながら地域を知っていく。

イベント② 自分の得意を教えるワークショップ

好きなこと、得意なこと、今活動していることを各ブースで行う

例) 地域食堂・・・食べ物提供

将棋対戦、耕作、スポーツ、展示など

子育てグループ 普段されている活動の中でPRできるもの

<ホームページ作成について>

- ① 第一地区の地域団体がPRしたい内容を掲載できる電子掲載版。
- ② 地域団体の活動紹介ページ。
- ③ 地域団体が所有するホームページにアクセスできるページ。

上記 3 点に重点を置いたホームページを作成し、第一地区内地域活動のプラットフォームを整備するとともに、インターネットを使用できる世代への地域活動について周知を図り、新たな人材発掘へつなげていく。